

胃癌幽門側胃切除症例に対する No1, No4sb リンパ節転移の検討に関する研究の
お願い

当科では以下の臨床研究を行っております。この研究は「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省，厚生労働省）に基づき、患者さんから同意を頂くことにかえて情報を公開することにより実施しております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら下記の問い合わせ先までご連絡ください。

【研究課題名】

胃癌幽門側胃切除症例に対する No1, No4sb リンパ節転移の検討

【研究の意義・目的】

胃癌においてリンパ節転移は予後に大きく影響する因子であり、外科手術において確実なリンパ節郭清が重要であると考えられております。一方近年、低侵襲・機能温存した術式が重視されております。ここで、幽門側胃切除術を行った患者さんは、胃の入り口に近いリンパ節（NO.1 と NO.4sb）のリンパ節転移率は低く、省略できる可能性があります。胃の入り口に近いリンパ節（NO.1 と NO.4sb）のリンパ節郭清を省略することで、低侵襲治療につながると考えられます。本研究の目的は、胃癌幽門側胃切除症例において、NO.1 ならびに NO.4sb リンパ節転移の危険因子を抽出し、NO.1 ならびに NO.4sb リンパ節郭清省略の可能性について検討することです。

【研究の方法】

1990 年 1 月の治療開始時から 2019 年 12 月までに当科において胃癌で幽門側胃切除術を受けられた患者さんが対象になります。

【研究期間】

倫理審査委員会承認後から 2025 年 2 月末まで

【個人情報の取り扱い】

本研究は、あなたのカルテや病院記録（病理組織診断報告書）などの診療録を利用する観察研究ですが、プライバシーの保護には十分配慮致します。この研究を通じて得られたあなたに関する記録は、研究事務局に集められて保管されますが、あなたのお名前はわからないようになっていますし、研究の管理者以外の目にふれることはありません。この臨床研究の結果は雑誌や学会で報告しますが、その時もあなたの名前や個人を特定できる情報は使用しません。

【研究への参加を希望されない場合】

今回の研究へ参加を希望されない患者さんは、下記の研究責任者までご連絡ください。患者さんに関するすべての医療情報の登録の中止と削除を速やかに行います。

【この研究の倫理審査について】

この研究は、本学の医学部倫理委員会によって、研究計画の妥当性が評価されており、患者さんの権利が守られていることや、医学の発展に役立つ情報が得られることなどが検討され、実施が認められています。

【質問してください】

この臨床研究についてわからないことや心配に思うことがあればいつでも遠慮なく担当医師にお尋ねください。

【本研究に関する問い合わせ先】

杏林大学医学部 消化器・一般外科学教室

研究責任者 竹内弘久

Tel : 0422-47-5511 (内線 7721)

E-mail: takeuchih@ks.kyorin-u.ac.jp